

文教常任委員会 報告



＜所管事項＞

文化スポーツ部及び教育委員会の所掌に関する事務の調査、審査。

委員	松井	高橋	片野	若海	近藤	石川	佐藤	吉敷	石川	大河内
副委員長	井	釜	廣	保	明	隆	隆	隆	隆	隆
委員	釜	釜	釜	釜	釜	釜	釜	釜	釜	釜
委員	釜	釜	釜	釜	釜	釜	釜	釜	釜	釜

これまで審査した 主な案件

文教常任委員会は、教育委員会が所掌する事項について案件審査を行ってまいりましたが、平成二十二年度の組織改正で文化スポーツ部が設置されたことにより関連の事項についても所掌することになりました。

この間、審査してきた主な案件は、以下のとおりです。

・川越市公民館設置条例

の一部改正

・川越市立学校設置条例の一部改正

・川越市立川越高等学校授業料等徴収条例の一部改正

・川越市立教育センター条例の制定

・川越市立小・中学校校舎・体育館耐震補強工事請負契約（喫緊の課題である学校耐震化は、議会からも早期の実現を求めておりましたが、実施に伴うもの）

・その他（所管内の一般会計予算等も審査）

中高一貫教育

（広島県福山市）

「中一ギャップ」に見られるように小六から中一に移行する中で不登校生徒が増加するなど進学に伴う不適応が懸念されていることや、児童生徒の学力の低下や格差の拡大が指摘されている現状にどのように対応していくべきか、また、川合市長就任後、一貫教育のあり方について検討を進めていたことから、他市での一貫教育の現状を学ぶことが重要と判断し、二市の視察を行いました。

津山城備中櫓復元

（岡山県津山市）

川越市では富士見櫓の再建が課題となっており、従前より文教、建設各常任委員会の視察が行われてきました。現委員会としても他市の事例の視察を行い、富士見櫓再建に資する情報を得るとともに、文化財に関する見識を高めるため、視察対象としたものです。

携帯電話とICカードを活用した地域児童見守りシステム

（愛媛県四国中央市）

登下校をはじめとする様々な状況下で子どもたちが巻き込まれ、犠牲となる悲惨な事件、事故が絶えないことに鑑み、子どもたちが安心して過ごすことのできる地域形成にどのような対応が必要か、また、どのような具

地域協働学校推進事業と埋蔵文化財センター

（岡山県岡山市）

地域協働学校推進事業は、地域全体で子どもたちの豊かな学びと育ちの実現をめざして取り組むことを学びました。

文化財の保存活用

（福井県小浜市）

全国に二十あるうちのひとつ、小浜市の「歴史文化基本構想」（若狭町と協働）について説明を伺いました。文化財を個別の分類で考えるのではなく、広義にとらえ、保存と活用を一体的にとらえる優れた取り組み。姉妹都市である小浜市の構想は川越市にとって大変参考になるものといえます。

「中学校区教育」を展開し、子どもの発達段階に応じた継続的指導、学校・家庭・地域の連携強化を目指してきた福井市の教育支援プランについて、「特色ある中学校区文化の創造」の取り組みなどを学びました。

（富山県富山市）

富山市民大学を主宰する市民学習センターを訪問し、講座の開催状況について説明を受けました。富山市はガラスを取り入れたまちづくりを掲げており、ガラス工芸科を開催しているセンター分室では、制作の様子を拝見させて頂きました。

行政視察

文教常任委員会の視察は、児童生徒を取り巻く諸問題や課題、文化財の保護、市民スポーツの振興などをテーマとし実施しました。以下、その目的等を報告します。

小中一貫教育

（大阪府寝屋川市）

川越市では富士見櫓の再建が課題となっており、従前より文教、建設各常任委員会の視察が行われてきました。現委員会としても他市の事例の視察を行い、富士見櫓再建に資する情報を得るとともに、文化財に関する見識を高めるため、視察対象としたものです。

携帯電話とICカードを活用した地域児童見守りシステム

（愛媛県四国中央市）

「中学校区教育」を展開し、子どもの発達段階に応じた継続的指導、学校・家庭・地域の連携強化を目指してきた福井市の教育支援プランについて、「特色ある中学校区文化の創造」の取り組みなどを学びました。

小浜市にて



厚生常任委員会 報告



＜所管事項＞

福祉部、保健医療部、環境部及び産業観光部並びに農業委員会の所掌に関する事務の調査、審査。

〔委員会構成〕
委員長 稲浦敏雄
副委員長 大泉一夫
委員 須賀博、柿田有博、三上喜久蔵、荻窪一郎、加藤昇、清水京子、小林薫、石川良三郎

これまで審査した 主な案件

- ・長寿祝い金支給条例の制定
 - ・保育所整備基金条例の制定（待機児童を解消するため保育園の整備を目的としたもの）
 - ・産業観光館条例の制定
 - ・産業観光館の指定管理者の指定
- 指定管理者の指定の審査にあたり、「株式会社まちづくり川越」から参考人をまねいて審議を行い、産業観光館の指定管

- ・墓地等の経営の許可等に関する条例改正
- ・土壌汚染対策法関係手数料条例の一部改正
- ・その他（所管内の一般会計予算、特別会計予算等も審査）
- ・川越市大字下老袋地内に建設予定の墓地に対して反対を求める請願
- ・入所施設で暮らしている重度障害者の通院・買い物・余暇活動等を支援するヘルパー制度の拡充等を求める請願
- ・新清掃センター（現資源化センター）リサイクル処理棟新築工事請負契約の変更（資材価格の高騰にともなうもの）
- ・農業集落排水事業汚水処理施設下部工事請負契約、及び工事期間の変更
- ・保育所設置及び管理条例の一部改正（保育所の入所定員を増やしたことにともなうもの）
- ・子ども医療費支給に関する条例の一部改正（子ども医療費の支給対象年齢拡大にともなうもの）

行政視察

厚生常任委員会の視察は、福祉、環境、商店街の活性、観光施策などをテーマに実施しました。以下、その概要を報告します。

都心ゲートパーク北地区整備事業「浜松べんがら横丁」（静岡県浜松市）

駅に近接した中心市街地ににぎわいを生むため、

人間のアイデアと資金を導入した取り組みの手法を学びました。

ご当地創作バーガー、マスコット「とばーがー」（三重県鳥羽市）

担当部署の職員の意欲が施策推進の原動力となっている様子がうかがえる一方、マスコット使用権管理などの課題も見えました。

回想法「思い出ふれあい」事業（愛知県北名古屋市）

介護予防などの効果とともに、指導者の育成や地域での交流など、市民との協同を広げる取り組みは他市でも参考にできるものでした。

唐津よかばい旅俱樂部（佐賀県唐津市）

旅行業の専門家を担当部署に配置し、着地型の旅行商品開発で実績をあげていました。一方、経費に見合った成果には至っていないとの報告もさ

感じました。

福祉のICT活用事業（福岡県大野城市）

市政の様々な分野で利用するシステムの共通部分を独自に開発した経緯が紹介されました。様々な分野の業務のやり方を分析し、整理する手法は複雑な事務処理の改善に役立っているようでした。

子育てふれあい交流プラザ（福岡県北九州市）

子育てふれあい交流プラザは、平日にもかかわらず親子連れでにぎわっていました。設置や管理に多額の費用がかかっていることが課題のようです。

近代産業遺産「旧ヒダ工場」の活用（北海道江別市）

「旧ヒダ工場」は本格的な活用はこれからの課題となっている施設で、立地や改修にかかる費用など、当初から見通しを持って事業を行う必要性

を感じました。

観光振興施策（北海道旭川市）

観光施策については、自然条件などが施策の効果に大きく影響することを感じました。また、観光課と観光協会の役割の明確化は各自自治体で苦勞している様子が散見されました。

「アラエール号」利用によるゴミ減量施策（北海道札幌市）

「アラエール号」の利用は先進自治体を参考に導入されており、他の自治体から学んだものが活かされた一例でした。



ヒダ工場跡地にて